

平成30年度 事業計画

1. 基本方針

わが国においては、高齢化の進展により総人口に占める65歳以上の割合が27%を超え、6年後には30%を超えると推計されています。また、長寿国として世界第2位を占めており、高齢社会を支える労働力人口が大幅に減少し、企業の人手不足も深刻化しています。昨年「働き方改革実行計画」が決定され意欲のある高齢者が年齢に関わりなく働くことができる環境を整備し、多様な就業機会を提供する必要があると明記されています。

神石高原町では、人口が9,300人を割り込み、65歳以上の人口は46%を超えており、若年労働者不足は年々深刻になっています。そのため高齢者が現役として果たす役割が益々重要になっています。

当センターは、公益社団法人に移行し8年目を迎え、公益認定法による3つの公益目的事業が挙げられ、より高い法令遵守が求められています。

シルバー事業は、『自主・自立、共働・共助』を基本理念としており、事業展開として「生きがいを持って暮らせる地域づくりと前向きな活動」と「社会奉仕活動と高齢者に安心のサポート活動」そして「一歩踏み出す挑戦の気持ちで事業拡大に取り組む活動」を掲げています。

統一テーマとしては「親切、丁寧、誠実な就業で、地域から信頼され、地域の期待に応えるシルバー」をめざして、地域の活性化に貢献するために、積極的に事業を推進していきます。

そのため、センター事業の基本姿勢である『福祉の受け手から福祉の担い手へ』を合言葉に、多様化する地域における人手不足分野を応援できるよう事業体質の改善・強化に努めながら、高齢者として新たな活躍の場の確保をめざして事業実施計画に反映していきます。

2. 事業実施計画

(1) 普及啓発活動《公1》〔1〕4 - (1)

○シルバー事業の意義と基本的な理念及び取組み等を積極的に町内へ周知します。

○常に「お客さま第一主義」で、シルバー事業に対する信頼と理解が得られるよう努めます。

○広報紙「やまびこ」、ホームページ、チラシ等を積極的に活用して、新規入会者の募集を行うと同時に、町民まつり、各種イベントへの参加により、シルバー事業の情報提供と情報収集を行います。

(2) 安全就業の徹底・適正就業の推進《公1》〔1〕4 - (2)

- 「安全はすべてに優先する」を合言葉にして、「就業中の事故防止」に加えて「就業途上における交通事故防止」の徹底を積極的に取り組みます。
- 「毎月17日を安全の日」と定めて、6月と7月の集中期間を含めて就業現場のパトロールを行い、熱中症予防を含む安全意識に対する普及啓発に取り組みます。
- 安全就業標語の募集により優秀作品を選考して公表することにより、安全意識を高める認識を共有できる体制づくりに努めます。
- 適正就業ガイドラインをより実践するため、雇用とみなされる就業については、シルバー派遣事業の活用を図ります。
- 長期にわたる就業、本来の契約内容とは異なる就業については、適正就業基準を遵守して適正化を図り、就業の公平および円滑な適用に努めます。

(3) 就業開拓・就業拡大活動《公1》〔1〕4 - (3)

- シルバー事業は、請負や委任の受託事業を中心に就業しており、新たな就業として派遣先の事業所等で指揮・命令を受けて働くシルバー派遣事業の提供も行っています。
- 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業により、シルバー派遣事業の強化に努めます。
- 就業機会の拡大は不可欠であり、地域から信頼され、地域に期待されるセンターとして、地域の就業ニーズ等の把握を行い、行政、民間企業、任意団体、法人等と総合的な調整に努めます。
- 地域に貢献し地域に期待されるセンターとして、会員・役職員による高齢者にふさわしい1人1就業開拓をめざします。

(4) 相談・情報提供《公1》〔1〕4 - (5)

- 入会希望者への説明及び面談に当たっては、シルバー人材センター事業の理念やセンターの制度を十分に説明します。
- 毎月第3火曜日に新入会員説明会を設定していますが、希望があれば随時説明会に対応して高齢者からの相談に丁寧に対応します。
- 地域で働く高齢者のためのワンストップサービスセンターとして、高年齢者に、雇用、就業、職業能力開発、ボランティア活動、自営、就農等に係る相談や情報提供を行います。

(5) 社会参加活動の推進《公1》〔1〕4 - (6)

- 地域に役立つセンターとして、又、地域に真心をお返しする会員として、「高

高齢者に対する生活サポート声かけ活動」「通学児童の安全見守り活動」「全国シルバーの日の協賛事業実施」など、地域に貢献できる活動を展開します。

○ボランティア活動として、希望する高齢者を対象に「できることを」「できる範囲で」を合言葉に、社会参加活動を行います。

○地域に密着した防犯パトロール活動により、事故の未然防止に取り組む活動を展開していきます。

（6）会員拡大の推進

○平成30年度から全国レベルで第二次会員100万人達成計画が設けられ、当面は3年間で80万人をめざす方向で修正され、会員拡大はシルバー事業の根幹をなすものであり、第3次中期計画の目標会員数352名に基づき、1人が1会員入会の輪を広げて前向きな入会促進に努めます。

○継続再雇用が定着している中で、会員確保の対応に苦慮することが避けられない状況ですが、地域を支える立場であり続ける高齢者を増やすことは必要不可欠であり、新規に全センター賛同のもと県シルバー連合会としてラジオ放送を利用した入会の呼びかけを行うとともに、会員や役職員と協力して健康で働く意欲のある新入会員の拡大を実現していきます。

○就業を離れた高齢会員には、「ゴールド会員制度」の周知を図り、就業を伴わないボランティア活動などで交流できる特別会員としての勧奨に努めます。

（7）組織活動(地域班・職群班)の体制強化

○地域班及び職群班の充実と連携を図り、地域に根ざした事業展開と発注者のニーズに迅速に対応できる体制強化をめざします。

○地域班は、会員相互の連帯意識と親睦を基に、センターと会員の連絡体制を整えて、事業効果を高めて地域の発展に貢献します。

○職群班は、会員の共働・共助を基本に、安全を優先した作業遂行を促進し、事業効果を高めることに貢献します。

（8）会員の資質向上

○地域の信頼に応えるため、「愛されるシルバー会員」をめざして、会員の資質向上に努めます。

○技能やマナーの向上に努めて、発注者から一層満足いただける就業内容が、センターの信頼につながるものであり、町内の高齢者全員を対象にした各種講習会への参加を呼びかけ、各種研修会では個々の知識や技術の向上と資質の向上を積極的に図ります。

①安全就業講習会 ②植木剪定講習会 ③刈払機講習会 ④施設清掃講習会

⑤学童保育研修会 ⑥福祉・家事援助研修会 ⑦地域班・職群班研修会

○事務局においては、各職員の資質の向上と業務の迅速化、効率化を図るほか事務局機能の充実を図ります。また、職員間の情報の共有化を図り、研修会・講習会には積極的に参加するよう努めます。

（9）安定的財政運営基盤の構築

○公益社団法人として、「不特定多数の者の利益に供する公益事業の展開」など公益性を重視した事業運営が重要となり、公平・公正・透明性が求められており、財政基盤の明確化や適正な財産管理に努めます。

○第3次中期計画によるセンターの自立的な運営基盤の適正な見直しや強化対策を計画的に推進します。

○効率的な投資、事務経費の節減、運営費等支出について、分析・検討・見直しを行い、センター事業の安定的な財政運営に努め、関係機関との連携を密にして、適正・効率的な法人運営を行います。

（10）学童保育事業の充実

○町委託事業である学童保育事業「やまびこクラブ」は、保護者の就労により留守になる家庭の児童が、放課後から夕方までと長期休みの時間を、家庭的な雰囲気の中で過ごすところで、児童の基本的生活習慣をしつけるとともに、集団生活を楽しめる子供の育成と、遊びを通して自主性、社会性、創造性、協調性を身につけることなどを指導します。

○「やまびこクラブ三和館」を除く3館においては、毎月1回、土曜日の開所を計画しております。保育時間延長については、町の子育て支援の方針を考慮して全館において、午後6時から30分間延長の必要性和指導員の対応を協議していきます。

○指導員の研修会・講習会に積極的に参加し、行政・学校・保護者と連携した指導体制の充実を図ります。

○指導員の情報共有により、安心・安全な保育内容の充実を図ります。